

初任SWのための基礎講座

全5回のプログラムが、SWとして在り続ける、SWとしての力を身につける土台づくりになるかも



日常業務から一步離れてSWとしての自分をみる

2026年（令和8年）度は、8/9、9/20、10/11、11/15、12/20のいずれも日曜日に、概ね1回4時間程度のプログラムを開催！

第3回に行う情報交換会では、同じくらいの経験年数のSWと色々と話す機会を設けています！！ 第1回、第2回は受講が必須となりますが、選択制の講座も関連がありますので、全プログラムの受講をお勧めします。参考までに先輩受講者の皆さんの声を裏面に記載しています。また、下記の研修受講のポイント①②③も参考に！

1

ベクトル

は、常に自分向きで。
正解不正解、できてる
できてないではない。

2

オープン

自分向き矢印で気づいた事や感じた事をありのまま言葉にする。

3

対話

を通じて更なる気づきが訪れる。受講仲間と共に学びを深める。

過去の現任者研修



新人SWが対象
めだかプロジェクト



中堅SWが対象
ハチ公プロジェクト



経験年数を横断
すべてのSWが対象
つばめプロジェクト

参加者の声

【第1回プログラム】

ソーシャルワーカーとは何をする人なのか、説明することが難しいと思っていました。それは自分自身も理解が不十分だったからだと講座を終えて感じました。ソーシャルワーカーは自分が武器になるため、まずは自分の価値について理解を深めていきたいです。

【第2回プログラム】

MSWの役割は幅広く、現場でも「これってMSWの仕事じゃないよね」という話がよく飛び交っています。今回の演習を通して全ての業務が「クライアント中心」ということを考えると雑務も業務の一貫なのでは、と思うようになりました。患者様の病状を生活の立場から見るということは唯一MSWの特権であり、責任を持ち日々の業務をしていこうと思いました。

【第3回プログラム】

退院調整看護師の強みはリスクを見つける事。SWの強みは本人の意思決定を代弁し、クライアントの強みを活かせる事と学んだ。退院調整看護師との違いやSWの強みは何だろうと日頃から感じていた自分にとってはとてもしっくり来た。クライアントの本心を聞き取り、医療者と協議することも学んだ。

【情報交換会】

お互いソーシャルワーカーとしての経験が浅い中でも、様々な経験を共有できていい機会でした。



た。仕事とは関係のない話もでき、今までより深く他の参加者のことを知ることができました。

【第4回プログラム】

自身の弱みを決して弱点と捉えず、どう強みに変えていくかという視点が大切だと学びました。また自己覚知は自分一人では気づくことができないことがあるので、様々な人との関わりの中で気づきを得たいと思いました。

【第5回プログラム】

普段自分の面接を振り返ることが少なく流れ作業のようになっているのですが、今回の研修では面接を他者に見ていただくことで客観的視点での評価ができ大変役立つと思いました。

プログラムにアシスタントとして参加してみませんか？

私も数年前、この現任者研修を受講し、自分にベクトルをあて、SWとしての自分を見つめ直す時間になったのを覚えています。職場が変わり、もう一度初心に戻りたいと思い、昨年度よりアシスタントとして参加しております。受講生として参加した時とは違う視点が見つかったり、違う一面を知ることができたりなど新たな学びにつながりました。

アシスタントに興味のある方は右の二次元コードからアクセスをお待ちしています！

